

Ⅲ. 世界広宣流布と創価学会

| 世界広布と創価学会 (1) 創価学会の歴史 |

現代において大聖人の精神を継承し、世界広宣流布の使命を自覚し、その実現のために実践し抜いてきた教団が創価学会である。

現代における広宣流布の自覚と実践を確立した指導者が
牧口常三郎初代会長
戸田城聖第二代会長
池田大作第三代会長・SGI会長 である。

【牧口常三郎・初代会長の時代】

昭和5年11月18日	創価教育学会として『創価教育学体系』を発刊 創価学会創立記念日
昭和19年11月18日	牧口先生 東京拘置所で逝去

「創価」とは「価値創造」の意味である。

大聖人の謗法嚴戒の教えを貫き神札を拒否した。

戸田先生の獄中の悟達「仏とは生命である」「われ地涌の菩薩なり」が戦後の創価学会発展の原点となった。

【戸田城聖・第2代会長の時代】

昭和20年7月3日	出獄
昭和22年8月24日	池田先生 入信
昭和26年5月3日	第2代会長に就任 75万世帯の折伏を達成すると誓願を宣言
昭和27年4月	立宗700年の節目に『日蓮大聖人御書全集』を発刊
昭和32年6月	夕張炭労事件 政治進出に伴う労働組合による弾圧
昭和32年7月3日	大阪事件 池田先生が大阪府警に不当逮捕
昭和32年7月17日	池田先生 大阪拘置所を出所 ※昭和37年1月25日無罪が確定
昭和32年9月8日	「原水爆禁止宣言」を発表 「核兵器は魔の産物である」
昭和33年3月16日	広宣流布の模擬試験 → 「広宣流布記念の日」に。
昭和33年4月2日	戸田先生 一切の願業を達成して逝去

会の名称を「創価学会」に改め、座談会や地方折伏を再開した。

戸田先生、池田先生による師弟共戦で学会を再建した。

人間革命とは、日蓮仏法の実践によって各自が自身の境涯革命し、全人類の宿命転換を成し遂げることを意味している。

戸田先生は、生命論を基盤とする人間革命の理論として日蓮仏法を現在に蘇生させた。

権力の魔性が大きく蠢動しはじめる。「出獄と入獄の日に師弟あり」

【池田大作・第3代会長／SGI会長の時代】

昭和35年5月3日	第3代会長に就任
昭和35年10月2日	世界広布の第一歩を踏み出す
昭和39年	公明党を創立
昭和40年	小説『人間革命』執筆開始 『新・人間革命』に続く
昭和43年	創価中学・高校、創価大学 創立
昭和43年9月	日中国交正常化提言を発表
昭和48年	関西創価中学・高校 創立
昭和47～48年	アーノルド・トインビー博士との対談 40時間に及ぶ
昭和49～50年	中国・ソ連・アメリカの首脳と会談 平和と友好の道を開く
昭和50年1月26日	創価学会インターナショナル（SGI）が発足
昭和52年頃から	第一次宗門事件が表面化する
昭和54年4月24日	第3代会長勇退
昭和58年1月26日～	毎年、「SGIの日」記念提言を発表
平成3年	日蓮正宗が創価学会を破門 第二次宗門事件
平成7年	SGI憲章を制定
平成8年	戸田記念国際平和研究所 創設
平成13年	アメリカ創価大学 開学
平成25年11月	広宣流布大誓堂が落成

第三代会長就任式での第一声：

「若輩ではございますが、本日より、戸田門下生を代表して化儀の広宣流布をめざし、一步前進への指揮をとらせていただきます」

日蓮大聖人が示された一閻浮提広宣流布への本格的な歩みが池田先生によって開始された。

創価学会の歴史を残すため小説『人間革命』『新・人間革命』を執筆されている。

教育部、学術部、芸術部、文芸部、国際部、ドクター部を結成。

東洋哲学研究所、民音、東京富士美術館、戸田記念国際平和研究所を設立。

公明党を結党。

幼稚園から大学・大学院までの創価一貫教育を開学、開園。

日中国交正常化提言。

トインビー対談をはじめ世界中の識者との平和文化教育の交流。

各国首脳との対話の道を開く。

宗門による創価学会への迫害から学会員を守るために第三代会長を勇退。

SGI憲章を制定。

創価学会は、社会に貢献する青年を育てる団体である。

創価学会は人類不可欠な団体として、仏法を基調とした平和・文化・教育の運動を世界的に広げている。

池田先生への顕彰は、世界の学術機関での講演30回以上、学術称号は300を超える。

海外の有識者との対談1600回以上、対談集は60点を超える。

トインビー対談は28言語に翻訳出版「世界の文化の道標」「人類の教科書」と評される。

世界各地に牧口先生、戸田先生、池田先生の名を冠した公園や通りが誕生。

各国から国家勲章、名誉学術称号、名誉市民称号など称賛と顕彰が相次いでいる。

現在、世界192ヶ国・地域で学会員が日蓮仏法を实践。各国SGIは大きな信頼と称賛を。

広宣流布誓願勤行会では「大法弘通慈折広宣流布大願成就」と認められた創価学会常住御本尊に広布の誓願を捧げ新たな決意で出発している。

→ 創価学会の実践によって日蓮仏法は人類全体を照らす希望の光となっている。